



「二十歳の代表者スピーチ」人見俊輝さん（那須中）



「記念品贈呈」富山れんさん（那須中）



「二十歳の誓い」郡司悠磨さん（那須中央中）



「町民憲章朗読」
深谷虹太さん
（那須中央中）

令和5年

はたち 二十歳のつどい

令和5年1月8日、文化センターで「二十歳のつどい」が盛大に開催され、今年は160人が新たな門出を迎えました。

成人年齢が18歳に引き下げられ、昨年度までの成人式から名称が変更になって初めてとなる「二十歳のつどい」が開催されました。集まった人々は、華やかな振袖や真新しいスーツなどの晴れ着に身を包み、久しぶりの友人との再会に喜び合う姿が見られました。

式典では、平山町長が式辞で「皆さまには、二十歳のつどいを人生の節目とし、成長を支えてくれた方々へ感謝の気持ちをお忘れずに二十歳としての責任を持って、夢や希望に進んでほしい。そして、新しい時代の担い手として、熱気あふれる若さとパワーに大きく期待しています」と述べ、また臨席の来賓も期待と励ましの言葉を贈り、新たな門出を祝福しました。

これを受けて、郡司悠磨さんが「自覚と責任のもと社会発展に貢献し、大人としての義務を果たすことができる社会人になることを誓います」と決意を表明しました。

最後に二十歳を代表して、人見俊輝さんが「自然豊かな那須町で培ってきたものを糧に、行動に責任と自覚を持って地域社会の発展に貢献していきたい」という決意とともに、深い愛情のもと育ててくれた両親や家族、恩師や地域の方々への感謝の気持ちを伝えました。